

団地再生実践講座①

—団地再生プロジェクトの計画・設計技術と建築再生技術—

講師からのメッセージ

団地再生に向けた活動が活発化し、団地再生プロジェクトへの公的支援も始まり、関係する様々な分野の注目を集めている。この講座はこの状況を受けて従来の講座を再編したものだ。講座①と②は、団地再生プロジェクトの計画方法と建築再生技術の解説、および、コミュニティの活性化に基づく団地再生プロセスの円滑な進行について解説し、基本的知識を伝えることを目的としている。これに団地再生を主導する行政的取組みの総括、および、諸分野で進行する産業再生活動における団地再生の位置付けを展望する講座③を加えた。

受講者は、団地の自治会・管理組合関係者、管理会社、設計者・コンサルタント、工事業、部品産業、不動産業、およびエネルギー産業、生活サービス産業、金融業、さらに大学研究者・院生を想定し、各講座の単独受講も可能なプログラムとしている。

当講座①は、設計者、コンサルタント、工事業、部品産業、管理組合・自治会の方に受講をおすすめいたします。

講座のポイント

本講座は一般社団法人団地再生支援協会(<http://www.danchisaisei.org/>)に蓄積された多分野の専門知識を結集してこの巨大市場への参入を促すためのものであり、高齢社会への対応や新エネルギー対応など異業種間の交流を進めます。

講義概要

曜日	火曜日	時間	19:00~20:30	回数	2回
受講料	一般:7,000円/法人会員:5,600円	定員	30名	ポイント	★
教材	1、リバティアカデミーブックレット⑯:団地再生・まちづくり実践講座 ※講座初回にお渡しします。 2、レジュメ資料				

日程	講義内容	講師
1 1/14 (火)	団地再生の計画と設計を進める際の各種パターン 団地再生プロジェクトの全国的展開について具体事例を引用して紹介する。各プロジェクトにおける再生課題の整理の仕方と建築計画・都市計画的な取組みのパターン(建替、建物改修、グレードアップ改修、屋外改修、建築と土地利用の変換)について解説する。本講義は“ストック再生”という“建物など住環境を構成するモノの“長寿命化”に重点を置く。高齢者施設、新エネルギー導入、都市緑化などの計画については、この長寿命化計画の見通しが成立した上で考える。	奥茂
2 1/21 (火)	スケルトン・インフィル技術による建築再生の効果と展望 現在のマンション再生では、“ストック再生”の原理の“スケルトン・インフィル”技術コンセプトが実績をあげている。この講義では、このコンセプトが、各種の取組みパターンでどのように適用されるかについて、具体事例に基づいて詳しく解説する。再生建築の設計がコストと工事計画に、どのように関係するかを含む内容である。具体事例には賃貸集合住宅も加えて、このコスト設定と維持管理の面で同じ効果が発揮できることを示す。	近角

講義形式 ▶ レクチャー

担当講師(詳細は巻末をご覧ください。)

奥茂 謙仁 おくも けんじん	(株)市浦ハウジング&プランニング 取締役副所長
近角 真一 ちかく まこと	集工舎建築都市デザイン研究所所長 東洋大学大学院客員教授
澤田 誠二 さわだ まこと	コーディネータ 元明治大学理工学部教授 (一社)団地再生支援協会副会長

団地再生実践講座②

ーコミュニティの活性化と計画プロセスのマネージメントー

講師からのメッセージ

団地再生に向けた活動が活発化し、団地再生プロジェクトへの公的支援も始まり、関係する様々な分野の注目を集めている。この講座はこの状況を受けて従来の講座を再編した。講座①と②は、団地再生プロジェクトの計画方法と建築再生技術の解説、および、コミュニティの活性化に基づく団地再生プロセスの円滑な進行について解説し、基本的知識を伝えることを目的としている。これに団地再生を主導する行政的取組みの総括、および、諸分野で進行する産業再生活動における団地再生の位置付けを展望する講座③を加えた。

受講者は、団地の自治会・管理組合関係者、管理会社、設計者・コンサルタント、工事業、部品産業、不動産業、およびエネルギー産業、生活サービス産業、金融業、さらに大学研究者・院生を想定し、各講座の単独受講も可能なプログラムとしている。

当講座②は、コンサルタント、まちづくりNPO、管理組合・自治会、地域自治体の方に受講をおすすめいたします。

講座のポイント

本講座は一般社団法人団地再生支援協会(<http://www.danchisaisei.org/>)に蓄積された多分野の専門知識を結集してこの巨大市場への参入を促すためのものであり、高齢社会への対応や新エネルギー対応など異業種間の交流も進めます。

講義概要

曜日	火曜日	時間	19:00~20:30	回数	2回
受講料	一般:7,000円/法人会員:5,600円	定員	30名	ポイント	★
教材	1、リバティアカデミーブックレット⑯:団地再生・まちづくり実践講座 ※講座初回にお渡しします。 2、レジュメ資料				

日程	講義内容	講師
1 1/28 (火)	再生プロジェクトの合意形成とプロセスマネージメント プロジェクトの計画段階では居住者に関する現状把握、既存建物の再生可能性把握を基に再生計画をつくる。計画の際に、どのような法律や制度面の枠組みがあるのか、どのような取組みパターンの可能性があるかについて住民と再生事業の担い手が共通理解し、合意された内容に従った設計が行われる。設計に基づく事業採算性の確定の上でプロジェクトは実施される。この講義では、様々なプロジェクト・タイプ、取組みパターンごとに、どんな手順を踏み、どのアプローチが適切かを解説する。	砂金
2 2/4 (火)	再生プロジェクトにおける合意形成・主体組織づくりの実態 団地再生プロジェクトの“推進者”は、こうしたプロジェクトの進行に合わせて、様々なテーマの、様々なメンバー構成の勉強会や研究会の形成を促し、住民と再生事業主体あるいは住宅の管理運営組織間に必要な合意の形成に努める。講義では講師が自ら主体的に関わって来たマンション再生、コーポラティブ住宅の開発、生活関連施設の再生・活性化、および地域に根ざしたエネルギーグリッドなどのプロジェクトに即してその実態を述べる。	秋元

講義形式▶

レクチャー

グループワーク

担当講師(詳細は巻末をご覧ください。)

いさご ひろかず
 砂金 宏和
 あきもと たかふ
 秋元 孝夫
 むらた せいじ
 澤田 誠二

(株)アールアイエー

秋元建築研究所所長 NPO多摩ニュータウンまちづくり専門家会議副理事長

コーディネータ 元明治大学理工学部教授 (一社)団地再生支援協会副会長

団地再生実践講座③

—団地再生推進活動の総括と展望—

講師からのメッセージ

団地再生に向けた活動が活発化し、団地再生プロジェクトへの公的支援も始まり、関係する様々な分野の注目を集めている。この講座はこの状況を受けて従来の講座を再編したもの。講座①と②は、団地再生プロジェクトの計画方法と建築再生技術の解説、および、コミュニティの活性化に基づく団地再生プロセスの円滑な進行について解説し、基本的知識を伝えることを目的としている。これに団地再生を主導する行政的取組みの総括、および、諸分野で進行する産業再生活動における団地再生の位置付けを展望する講座③を加えた。

受講者は、団地の自治会・管理組合関係者、管理会社、設計者・コンサルタント、工事業、部品産業、不動産業、およびエネルギー産業、生活サービス産業、金融業、さらに大学研究者・院生を想定し、各講座の単独受講も可能なプログラムとしている。

当講座③は、デベロッパー、不動産業建設、ゼネコン、部品産業、金融業、新ビジネス産業、自治体の方に受講をおすすめいたします。

講座のポイント

本講座は一般社団法人団地再生支援協会(<http://www.danchisaisei.org/>)に蓄積された多分野の専門知識を結集してこの巨大市場への参入を促すためのものであり、高齢社会への対応や新エネルギー対応など異業種間の交流も進めます。

講義概要

曜日	火曜日	時間	19:00~20:30	回数	2回
受講料	一般:7,000円/法人会員:5,600円		定員	30名	ポイント ★
教材	1、リバティアカデミーブックレット⑩:団地再生・まちづくり実践講座※講座初回にお渡しします。 2、レジュメ資料				

日程	講義内容	講師
1 2/18 (火)	団地再生にに向う国の取組みの状況と展望 団地再生に関する公的事業主体の取り組みとその事例、法制度と支援制度の見直しの概要、再生技術の普及方策など。	真鍋
2 2/25 (火)	サステナブル社会づくりの進行と団地再生プロジェクト 団地再生プロジェクトは“ボトムアップ型プランニング”の導入、“スケルトン・インフィル”建築産業化が必要であり、その技術・ノウハウは、現在全国各地で顕在化しつつある多くの萌芽的プロジェクトは求めている。この講義では、そうしたサステナブル社会づくりの活動の中で本講座とその成果とがどのように位置付けられるか、また、IT 社会化の進む中での“住環境価値”そのものがどう変化し、プロジェクトに影響するかを述べる。	澤田

講義形式▶

レクチャー

グループワーク

担当講師(詳細は巻末をご覧ください。)

真鍋 純
澤田 誠二

国土交通省住宅局市街地住宅整備室長

コーディネータ 元明治大学理工学部教授 (一社)団地再生支援協会副会長